



## 第41回 保育まつり ☆ 開催!

あそんで  
たべて

ともだちつくろう

**子どもたちの目が輝く遊びコーナー!**  
スライム、牛乳パック人形、シャボン玉、びゅんびゅんゴマで遊び、保育園調理員による手作りドーナツやボールプールも5年ぶりに復活。子どもたちの目がキラキラと輝く遊びのコーナーばかりで、親子で一緒にシャボン玉を膨らませたり、スライムの感触の気持ちよさを味わったり、色を塗ったり楽しみました。  
たくさん遊んで、手作りドーナツを食べ、お腹を満たしてまた遊

**参加者みんなで作るまつり**  
「あそんで たべてともだちつくろう」を合言葉に、遊びの文化を継承していく、参加者みんなで作っていくまつりです。  
オープニングでは絵本「ぐるんぼのようちえん」の主人公のゾウに扮した保育士が登場して、各コーナーの遊びの紹介をすると、子どもたちのワクワク感は最高潮!

5月19日、第41回保育まつりが尾長小学校で開催され、昨年より200名も多い808人の参加で、会場や園庭は大賑わいでした。



**子どもたち主体で楽しむ場を!**  
保護者から「テレビやスマホから離れて遊べるのができてよかった」「子どもが家に帰ってもつくったおもちゃであそび、さらに工夫して進化させていた。保育まつりっていいですね」などの感想が寄せられました。  
子どもたちがいきいきと、そして主体的にあそびを楽しむことができる保育まつりを今後も続けていきます。



→写真は保育まつりのコーナーを楽しむ参加者の様子



5月25日(土)、自治労連35周年記念講演会「自治労連結成と35年の歩み、さらなる前進をめざして」が浜松市で開催され、元中央執行委員長の高橋忠親さんが「自治労連結成の原点」と思っている講演されました。  
1980年代、政府・財界が「官から民へ」「公務員削減」を掲げ行政改革を進めるなか、「労働組合が労働者や住民の立場に寄り添い闘う必要がある」として、自治労連、そして全労連を結成した」と振り返り、「不正義や不条理に抗



### 自治労連35年の歩みを途切れず次世代へ...



い、闘う組合・仲間があったからこそ、各地で諸権利や要求実現を勝ち取ってきた」と話しました。  
講演後、駒場さんを交えて、世田谷区職労副委員長の澤田香織さんと高梁市職労の岡崎加奈子さんが登壇。青年部活動などの思い出とともに、「仕事が忙しくて疲弊している」「組合活動が困難になっている」などの現状で、「どう次世代に引き継ぐか」を語り合いました。  
駒場さんは「今も昔も大事なことは、職場要求に基づいて徹底して労働組合が闘うこと」と話し、期待を託しました。

### 新鮮力② 今年のNEW FACEを紹介

強い責任感で努力を惜しまず、笑顔で頑張ります

広島市職員労働組合/調理員

前職の学校給食で子どもたちに「給食おいしかった」と言ってもらえたことが嬉しかったので、この仕事を選びました。

8H勤務になったので、この1年元気で過ごせるよう体調管理をしっかりしたいです。責任感が強く努力を惜しみません! 新人なので笑顔で頑張ります。

チャレンジ精神を忘れず

広島市ひと・まちネットワーク職員労働組合/公民館専門員

臨時職員の時、職員の人たちが楽しそうに働いていたので、この仕事を選びました。

趣味は手芸で、元気で前向きな私です。

組合のことは、まだよくわかりませんが、この1年、チャレンジ精神を忘れず、自分らしくやっています。



# 戦争の道には進まないよう 言い続けたい



原爆ドームを対岸から

5月26日(日)10時半～12時、「第20回県内の自治体・公共職場にはたらく女性の学習交流会」(事務局・広島自治労連女性部)が開催され、家族を含め22名が参加しました。

講師は徳永聖さん(国労広島地方本部)と山根岩男さん(地域労組ひろしま)の2名、参加者は2グループに分かれ、平和記念公園の碑につ



広島平和都市記念碑

～参加者からの感想～  
●平和公園内を回ることにはありますが、周辺を回ることには少ないので良い勉強になりました。単組でも学習できればいいなと思いました。  
●何度かフィールドワークに参加していますが、ガイドの方によって伝える内容が豊かで、その都度学びになります。共通して、戦争の道には進まないよう言い続けること。歴史を学び、多くの人と手をつないでいきたい。

いて講師からお話を聴きながらフィールドワークを行いました。

天候にも恵まれ、多くの碑をめぐることができました。

山根さんは、原爆は「戦争を早く終わらせるため」というより、「強力な武器を見せしめるため」に使われたのではないかと話されることが印象的でした。

参加者は「戦争の記憶を風化させない」。声をあげることが大切だと実感しました。



「また参加しようね」期待高まる「お楽しみ会」

## 楽しくて、仕事にも役立つ!

5月24日(金)午前、広島市中区地域福祉センターにて、広島市児童館指導員労組・留守家庭児童会指導員労働組合「すわくわく☆お楽しみ会」が開催されました。

会場には児童館指導員・放課後児童クラブ指導員合わせて33名が集まり、ゲームを交えての交流を行いました。

参加者全員が喋らずに誕生月順に並ぶ「サイレントバースデーゲーム」や、お題写真に合う一言をグループで考える「写真で一言!」といったアイスブレイクで会がスタートすると、初対面同士の参加者も緊張がほぐれた様子でした。

## すわくわく☆お楽しみ会

参加者からは「たぐさんの方と交流できてよかった」「ゲームなどを児童館でも取り入れたい」「今日のような会があればまた参加したい」といった感想が多く寄せられ、今後も参加者のニーズに合わせて続けていきたいという企画となりました。

### 広島市関連連絡会・要求書提出～対市交渉



財団側に要求書提出

# 「あなたの組合加入が賃金改善につながります」 外郭団体嘱託職員の4月遡及、正規と同月数の増額報酬を

5月31日(金)16時から、「広島市関連連絡会2024年夏の統一要求書」提出を行いました。

2点の重点要求は昨年の11月からの引き続きの内容であるため、理事者側に回答を求めましたが、前向きな回答はなく、4月遡及、正規職員と同額の増額報酬については、継続協議となり、今回の場では夏季休暇と6

月の増額報酬を0.05か月増額することを要請。増額報酬については理事者側に格差を是正するよう条件を付けた上で苦渋の妥結となりました。

指定管理者制度を統括する企画総務局分権・業務改革担当課長、出資法人経営改革推進室長との対市交渉に臨みました。

また、広島市長宛ての2点の重点要求実現を求める「團結署名」1002筆を提出。続いて、野々上議長をはじめ、各単組の執行委員長、副執行委員長が職場実態とそれに伴い嘱託職員の仕事量や責任が重いことを、一労働同一賃金の

指定管理者施設の設置責任は広島市にある  
同日17時30分から

回答交渉を6月26日(水)に開催することを確認して終了しました。

加を要求しました。不誠実な回答の当局に対して、各単組の参加者から厳しい意見が上がりました。交渉は白熱しました。同席した広島市職労の塩見中央執行委員長や広島自治労連の浜崎書記長からも、当局側の責任を強く追及しました。

今後は組合員も増やしながら、当局側と協議を続け、何となくも要求が実現するよう奮闘します。

### 府中町留守家庭児童会指導員労働組合令和6年度定期総会

府中町留守家庭児童会指導員労組は、5月9日(木)に安芸府中商工センターで令和6年度定期総会を開催し、組合員10人中6人が参加しました。黒木執行委員長から前年度の活

動報告・会計報告が行われ、今年度の特別休暇改正や勤勉手当支給について説明されました。

各組合員から新年度の職場状況が報告され、今年度の課題を確認したのち、今年度の役員体制について、前年度の体制を引き継ぐことが承認されて終了しました。

### 第39回網の目平和行進

- とき 6月28日(金)18時に広島市内4か所集合
- 集合場所 東コース・稲荷橋西詰  
中コース・池田銅像前 西コース・旧福島生協病院跡地前  
南コース・千田スポーツ会館(御幸橋電停付近)
- 全コース平和公園噴水前まで行進し、全体集会を行い19時15分頃終了。

